



アーバンガーデンの重要性を高めるには どうしたらよいか？

課題

アロットメントとコミュニティガーデンは長い間都市に存在し、都市のアクティビティやダイナミクスと結びついている。栽培という行為は根源的なアクティビティであるが、社会の変化に従いガーデンも妥当性や魅力を持続させることが求められている。都市によっては、以下のようなアロットメントガーデンの現代的課題がある：

- ガーデンの将来に関する不確実性
- 都市開発に伴うガーデン喪失のリスク
- 高齢化や転出、家族の問題による利用者層の変化
- 新規利用者、特に若者への魅力の欠如
- 空間や活用方法、利用者の多様性の欠如

課題1：どのようにガーデナーは都市におけるガーデンの重要性を高めることができるだろうか？ どのようにガーデンという存在を妥当で魅力あるものにできるだろうか？

課題2：なぜ公的機関が都市におけるアーバンガーデンの妥当性を保証しなければいけないのだろうか？ そしてどのようにすればよいのか？



図2 - ハチの飼育者が公開イベントを開催(マーティノー・ガーデン(イギリス、バーミンガム))。写真: Sandra Costa



図3 - クインタ・ダ・グランハのパブリック・パス(ポルトガル、リスボン) 写真: Sandra Costa

ガーデナーへのアドバイス

私たちのガーデンの重要性を高めるには？

多くの人が関わるほど、ガーデンの妥当性と魅力は高まります：

- 幼稚園や小学校の近くに区画を提供することで、子どもを巻き込みましょう。
- より多くのことを学び、新たなアイデアを生み出すために、ネットワークに加わり、NGOと一緒に活動しましょう。

より多くの人がアクセスできるガーデンにしましょう：

- みんながガーデンに来たり、ガーデンを通過したりできるようにしましょう。
- 座れるベンチを設置しましょう。
- 公開日を設定しましょう。
- みんなが関われるイベントを企画しましょう。
- ワークショップを開催しましょう(例：ガーデニング、コンポスト、水資源活用、ハチの巣づくり、リサイクルに関するもの)。

ガーデンの機能を増やしましょう：

- ただ栽培するだけの区画だけでない空間を作り、多様化させましょう(たとえば、共有の温室、遊び場、クラブハウス、芝生、林)。
- 様々なグループのために様々な大きさの区画を用意しましょう。
- 体の不自由な利用者のためのレイズドベッドを使った区画を用意しましょう。
- 果樹園と生垣を作りましょう。生物多様性を高め、ポリネーターを呼び寄せることができます。

敷地をきちんと管理しましょう：

- 区画を放置してはいけません。
- 一時的に空いている区画の管理をしましょう。
- みんなで協力して共有部分の管理をしましょう。

一般の人々と利用者にガーデンで何が起きているかお知らせしましょう：

- 掲示板を敷地内に設置しましょう。
- ソーシャルメディアを使いましょう。



図4 - パブリックエリアに置かれたベンチ。ハンブルッフ・アロットメントガーデン(ドイツ、アーヘン)。写真: Runrid Fox-Kaemper



図5 - 共有の温室。ウォールソール・ロード・アロットメント(イギリス、バーミンガム) 写真: Sandra Costa

関連情報

最近開設されたコミュニティガーデンに注目してみると、より開かれて、アクティビティや空間の多様性が大きいことがわかる。すべての空間を取り入れる必要はないが、いくらか多様性のある空間をつくってみると、ガーデンが良くなっていく。

事例紹介

プリンツェッシンエンガルテンはベルリンにあるコミュニティガーデンで、半世紀以上荒地になっていた場所に作られた。地域の人々が集まり様々なことを試みており、有機食品や生物多様性、気候変動防止について気づきを得ている。

<http://prinzessinnengarten.net/about/>

マーティノー・ガーデンは第二次世界大戦後にバーミンガムに作られたコミュニティガーデンである。都市の野生生物や地域のコミュニティ、来訪者が逃げ込める多様な環境をもたらしている。障害を持つ人がリラックスできる場所としてもよく整備されており、障害について学ぶ人も園芸療法の実践ができる。さらに、教育活動の場としても使われている。

<http://www.martineau-gardens.org.uk/>



図6 - アロットメント・パーク・クインタ・ダ・グランハ。まず最初にレクリエーション公園が計画され、その後に栽培用の区画が設けられた(ポルトガル、リスボン)。写真: Sandra Costa



図7 - アロットメント・パーク・クインタ・ダ・グランハ(ポルトガル、リスボン)。写真: Sandra Costa

政策立案者向けの情報

政策立案者が都市においてアロットメントガーデンを支援すべき理由とは？

- アロットメントガーデンは生態系サービスを供給し、さらに社会的統合や食料供給、教育的利益、気候調整、都市の生物多様性といった効果をもたらします。
- アロットメントガーデンは多くの経済的利益をもたらします。たとえば、健康維持に関する社会保障費や、公共空間の管理費を節約できます。

どのように都市計画家やデザイナーはアーバンガーデンの支援に貢献できるか？

都市・近隣住区では：

- ガーデンの敷地に適用される長期的・短期的な都市計画上の法的位置づけを作りましょう。
- ガーデンとその他のグリーンインフラストラクチャーを繋げ、連結性を促進しましょう。
- ガーデンの近くに駅や停留所ができるよう、公共交通機関の柔軟な見直しを行いましょう。
- 誰でもアクセスできるよう、自転車道や歩道をガーデンに達するように、そしてガーデンを通過するように整備しましょう。
- ガーデンを作ることで学校の支援もしましょう。

ガーデンでは：

- 計画およびデザインのプロセスにガーデナーと周辺コミュニティの人々を巻き込みましょう。
- ガーデンがより多様な機能を持ち、年齢やジェンダー、民族性に関してあらゆる人々を受け入れるよう、ガーデンの計画を立てましょう。
- 助言や資金を提供し、ガーデン内の多様性創出のための協働をおこなっていきましょう。
- 楽しみと教育、遊び。遊びながら植物を育て、自然の仕組みについて学べる空間としましょう。
- イベントや祭事ができる空間を作りましょう。
- インターネットなど、新たな技術を活用した計画・デザインをしましょう。
- エネルギー効率や新しい環境に優しい栽培方法や雨水貯蔵の方法についてもうちど考えて、持続可能性を担保しましょう。

都市で野菜やその他の植物を育てるためのガーデンの存在を支援し、そのために土地を用意しましょう！



関連情報

事例紹介

ポルトガルのリスボンでは、アロットメントを緑であふれる公園やガーデンの新たなあり方として支援するためのプログラムがつけられた。いわゆるアーバン・アロットメント・パークでは食べ物を育てるエリアとレクリエーションのエリアが結びついており、都市の緑道計画の中に統合されている。アーバン・アロットメント・パークのプログラムは2017年までに20か所以上整備することを目指している。

詳細な情報は以下の文献・ウェブサイトを参照。

Mata, D. (2014). Lisbon's green plan actions: towards a green city. Available at: http://www.urbanallotments.eu/fileadmin/uag/media/Lisbon/2-GVSF-CML-paper_COSTLNEC_FINAL.pdf (accessed 15 May 2016).

http://www.cm-lisboa.pt/fileadmin/VIVER/Ambiente/Hortas_Urbanas/ParqueHorticolaLisboa.JPG
<http://www.cm-lisboa.pt/en/living-in/environment/municipal-horticulture-parks>

図8 - 栽培用の区画に繋がっている自転車と歩行者のためのレーン。クインタ・ダ・グランハ(ポルトガル、リスボン)。写真: Sandra Costa

著者:

Sandra Costa¹; Birmingham City University, United Kingdom

Runrid Fox-Kaemper, ILS - Research Institute for Regional and Urban Development, Germany

Russell Good; Birmingham City University, United Kingdom

¹corresponding author: sandra.costa@bcu.ac.uk

翻訳:新保 奈穂美 (Naomi Shimpo), 筑波大学, shimpo@nenv.jp

インフォシリーズ | 1版 言語:日本語 (JAPANESE) | オンライン発行日:2016年12月1日

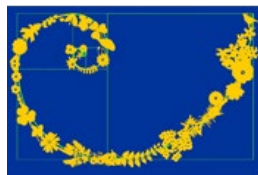


COST (European Cooperation in Science and Technology、欧州科学技術研究協力機構)は
欧州全域の政府間で形成されたフレームワークです。
その使命は科学的および技術的な発展により新たな概念や産物をもたらすこと、
それによって欧州における研究および革新の可能性を高めることです。

www.cost.eu



COSTはEUの研究・イノベーション枠組み計画「Horizon2020」に支援されています。



謝辞

このファクトシートはCOSTが支援する「COST Action TU1201 Urban Allotment Garden in European Cities」
の成果にもとづいて作成されました。

www.urbanallotments.eu



「欧州のアーバングーデン」に参加しましょう:

<https://www.facebook.com/groups/825421310826607/>